

新潟市立新津第二小学校



校章「ひまわり」

学校データ

【学級数】

15学級

【児童生徒数】

369人

【地域教育コーディネーター】

有

アートでつながる地域と学校 ～新津川 おかえり＊灯りぷろじえくと～

1 はじめに

当校は、昭和22年4月に創立。校区には新町商店街、新津川、秋葉山などの自然、新津図書館などがあり、よい環境に恵まれている。

教育の重点目標として「つながる・ひろげる・高め合う」を掲げ、子どもたちが友達・地域とつながり、見方・考え方をひろげ、資質・能力を高め合う姿の実現を目指している。

昨年度は20年以上前から取り組んでいる新津川に関わる総合的な学習と環境保全活動により日本河川協会より表彰を受けた。継続して、子どもが新津川の学習に主体的に取り組む活動を教育課程に

取り入れることにした。



<↑新津川土手のスイセンの球根植え>

2 取組の実際

(1) 総合的な学習の時間の取組

①4年生が能代川サケマス増殖組合の協力を得て実施。サケの卵をふ化させ稚魚の世話を行って新津川に放流する。

②5年生が新潟薬科大学の協力のもと、新津川はサケが生きられる環境かどうか、水質調査と生物調査を行う。



<↑新津川にサケの稚魚を放流>

(2) 図画工作の取組

「おかえり＊灯りぷろじえくと」は、「サケの稚魚が広い海で大きくなって新津川に戻ってきますように」という子どもたちの願いと「子どもたちが広い世界で大きく成長して地域に戻ってきますように」という地域の願いを込めて、約400個の灯籠を展示し、新津川の環境保全を呼び掛ける取組である。

活動を行うに当たっては、次のことを大切にしてきた。

①総合的な学習の時間と図画工作のねらいを達成するために、互いに効果的な教科横断的な活動とする。

②縦のつながり（幼・小・中学校、大学）横のつながり（行政、美術館、地域、PTA）が協力する機会とする。

③子どもの見方・考え方を広げ、表現力を育むために、世界で活躍する作家とつながる機会とする。

(3) 取組の主な内容

- ①近隣の幼稚園・保育園に、灯籠に参加を呼び掛ける。(今年度は二幼のみ)
- ②小学校1～3年生は図画工作の和紙と絵の具を使った造形遊びで灯籠の模様を描き、将来の願いを書く。
- ③4年生は「サケの冒険ものがたり」をテーマに絵本作家荒井良二氏のオンライン授業とワークショップにより大型灯籠を製作する。
- ④5年生は昨年度の彫刻家原田哲男氏の「地球を縫う」ワークショップの手法で竹灯籠を製作する。
- ⑤6年生は、新津第五中学校美術部と連携してサケねぶた灯籠をつくる。設計とワークショップは新潟大学、地域コミュニティ協議会の協力による。
- ⑥今年度は灯籠を当校の体育館に展示した。監修を新潟大学丹治義彦教授・橋本学准教授に依頼し、地域とPTAのボランティアで行った。
- ⑦秋葉区長をはじめとする来賓を迎え、10月25日15:00～点灯式を行った。



＜↑美術部の活動＞

3 成果と課題及び本実践で育成された資質・能力

(1) 知識・技能

総合的な学習の時間では新津川をきれいな川にして、サケに帰ってきてほしいとの思いを深める姿があった。そして、その思いを図画工作で灯籠をつくって伝えることにより、関心・意欲が高まり、環境や生き物についてより深く学ぶ姿があった。

(2) 学びに向かう力・人間性

作家とオンライン授業・ワークショップを行うことにより、自分の生き方を考え、夢や希望をもとうとしている姿を見ることができた。点灯式で灯りが点いた時には、子どもと大人が手を取り合って感動する姿があった。進んで地域の活動に参加しようとする態度を育むことができたと感じている。

2年目の「おかえり＊灯りぷろじえくとⅡ」は感染症対応をしながら、学校と地域・保護者・行政などが協働して実施することができた。しかし、反省として子どもが主体的に計画・運営に関わる機会が少なかった。来年度は、子どもが「灯りプロジェクトⅢ」の参加運営会議に参加できるようにし、主体的に取り組めるようにしたい。

4 おわりに

どの地域も人口の減少に悩んでいる。秋葉区も何とか人口流出を食い止めたいとの願いがある。子どもたちが広い世界をたくましく生き抜いて自分の育った町に帰ってくる。地域の未来をつくる資質・能力を高めたい。そのためには学校と地域とのつながりが



一層必要となる。

【成果と課題及び本実践で育成された資質・能力】

- ・ 児童生徒の変容，地域の変容が具体的に伝わるようにお願いします。
- ・ 児童生徒の変容から，本実践をとおして育成された資質・能力についても，記述してください。

【取組の実際の内容】

- ・ (1)以降の項目立ては自由とします。
- ・ 写真や表，図などを使用し，視覚的に伝わりやすいようにお願いします。
- ・ 写真や表，図などの枚数の制限はありません。また，必要に応じて，段組みの枠を越えて挿入していただいても結構です。

資質・能力例，評価項目例を資料として添付いたしますのでご参照ください。